



福岡県スポーツ少年団
〒812-0852 福岡市博多区
東平尾公園2-1-4
アクション福岡内
Tel.092-629-3535 Fax629-3536
編集/発行 福岡県リーダー会



さよならパーティーは、歌やダンス・劇など多彩な出し物で最高に盛り上がりました。
やはり最後はこれに参加しないと日独交流は語れない

「今年の日独交流で私とルーベン君が福岡に友人との絆を深めたいという想いで、家族とも相談して田川市の指導者の方にドイツ団のホストファミリーを申し出ると、OKの返事をいただきました。約一ヶ月間をかけて準備を進め、日独交流の全行程に同行し、体験プログラムで共に活動したり、国立博物館や太宰府天満宮でのガイドも行いました。ホストファミリーでは、国際交流をやることで、国境を越えて交流できることができていますよ。」

「東京で行われた、さよならパーティーにも参加して8月10日早朝に最後の見送りをしました。私が昨年から今年にかけて、このような素晴らしい経験ができたのは、38年間にわたって、先輩方がドイツスポーツユースと素晴らしい関係と素晴らしい関係と願っています。」



チェスユース全員に色紙をプレゼントしてきたよ

日独スポーツ少年団同時交流 ホームステイ受け入れの勧め！ やっぱり相互交流してこそ日独交流だね！

**地球の裏側の友人との絆を深めたい
リーダー会副会長 丸山健太**
昨年の日独同時交流でドイツを訪問した際にとってもお世話になったコニーさんから、今年の六月末にメールが届きました。内容は、「今年の日独交流で私とルーベン君が福岡に友人との絆を深めたいという想いで、家族とも相談して田川市の指導者の方にドイツ団のホストファミリーを申し出ると、OKの返事をいただきました。約一ヶ月間をかけて準備を進め、日独交流の全行程に同行し、体験プログラムで共に活動したり、国立博物館や太宰府天満宮でのガイドも行いました。ホストファミリーでは、国際交流をやることで、国境を越えて交流できることができていますよ。」



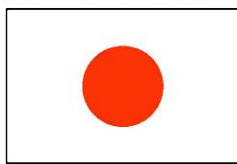
後輩達にもっと素敵な日独交流をつないでいくために何が出来るか



チェスユースの仲間達！

第39回日独スポーツ少年団同時交流受入事業

最高の感動をありがとう!ず〜っと繋がってようね!



7月27日(金)から31日(火)にかけての5日間、第39回日独スポーツ少年団同時交流事業の受け入れを、田川市スポーツ少年団が行いました。福岡県リーダー会でも、積極的に交流を行おうと、九州国立博物館や太宰天満宮の視察をはじめ、田川市でのカヌー体験、弓道体験、スポーツ教室などのプログラムに同行し、心温まる交流を行いました。来年は、いよいよ君がドイツに行く番ですよ!



ドイツの愉快的仲間達がラインダンスを披露!

さよならパーティーでは来日前から練習してきたラインダンスを披露して、会場を沸かせてくれました。
白と黒のコスチュームはチェスの駒を表しています。

今回来福したドイツ団のメンバーは、ドイツ各地から集まったチェスユースのメンバー9人(指導者1名・男性5名・女性3人)で、福岡県→長崎県→佐賀県の順で九州北部を回りました。

チェスがなぜスポーツ団体なの?と不思議に思われる方もいると思いますが、例えばアジアオリンピック評議会が主催するアジア大会で、囲碁や中国将棋が正式種目になっているように、チェスを含めたボードゲームもヨーロッパ諸国では立派なスポーツとして認知されており、スポーツユースにも加盟しているのです。



一年ぶり感動の再会
昨年のドイツ派遣でホストファミリーになってくれたルーベン君との一年ぶり感動の再会!

昨年の日独同時交流では、福岡県リーダー会から2名がドイツに派遣され、その際にホームステイでお世話になったルーベン君とコニーさんが来日し、1年ぶりに感動の再会を果たすなど、相互交流が実現しました。

28日には、九州国立博物館や太宰府天満宮の視察に同行し、ドイツ団をガイドするなどして交流を深めました。30日は、田川市の中元寺川水辺公園でのカヌー体験や、弓道体験、そして後藤寺小学校において、アビスパ福岡コーチによる田川市スポーツ少年団とのスポーツ教室で交流を行い、夜は田川市民会館でのさよならパーティーに出席させていただきました。今回の日独同時交流での経験は私達の一生の財産になると感じました。



中元寺水辺公園でのカヌー体験では、平川先生の指導で地元の小学生も参加して楽しみました。

次は君がドイツに行く番だよ!

日本スポーツ少年団では、国際感覚豊かなリーダーの育成を目標の一つに掲げており、日独同時交流は国際交流活動の大きな柱として位置付けています。日独同時交流の派遣団員になるには、高校生以上のスポーツ少年団員登録者で、ジュニアリーダー資格を取得した後、シニアリーダー資格を取得するなど必須の単位を取得することが条件です。しかし、全国でも高校生団員が少ないため、東京での事前研修に参加し、基本レクチャーを受け、英語とドイツ語の簡単な試験をパスすれば派遣が決定します。

福岡県のスポーツ少年団員の皆さん、是非高校生まで少年団員を続けて日独交流に申し込んでみませんか? 感受性豊かな高校生世代で海外の文化に触れることは、かけがえのない最高の経験になること間違いなしですよ。



ホストファミリーでは高校の同級生とともに志賀島へ海水浴に出かけて弾けまくり、最高の思い出をつくることができました。



田川市石炭記念館では田川市とドイツの歴史的なつながりを学ぶとともに、さよならパーティーでの炭坑節総踊りに向けて、炭坑節を習いました。